

わたしたちの町

人口(男)……4,660人
(女)……5,011人
合計……9,671人
3月中の転入……47人
転出……119人
世帯数……2,303世帯

(3月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和56年4月18日 第275号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。

広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

楽しいなあ入園式



入園式

黄色いぼうしを頭にのせて、はつらつとした通園風景が目につきます。手をたぐり父兄よりも軽い足どりで、春らしいさわやかな空気を運んでいるようです。園生は、東西南北の四保育園で三百十名。七日、八日の両日で各保育園で入園式が行なわれました。先生のお話しに、泣き出す子供、お母さんから離れない子供、お兄さん、お姉さんについて歩く子供、お母さん、おばあさんの心配顔も目にみえ、無邪気な表情が笑いを誘っていました。一つずつ、先輩になった上級園生が、歌やおゆうぎで歓迎。かわいらしい身ぶり手ぶりに、新入園生は大喜び。緊張もほぐれてワンパクぶりを発揮する男の子もいます。泣き虫さんはいないかな？ いじめっ子はいないかな？ お友達をいっしょにつくらうね。

(写真：西保育園で)

歓迎のおゆうぎ

七年計画で全町を
地籍調査事業スタート

合川町の面積はいくらでしょうか？①百十二平方キロメートル ②六十一平方キロメートル 答えはどちらも正解です。百十二平方キロメートルは国土地理院の測量によるもの。六十一平方キロメートルは地籍調査(財政課)によるものです。このような帳簿と実際の違いをなくすること、地籍調査事業の目的の一つです。

調査は

町づくりの礎

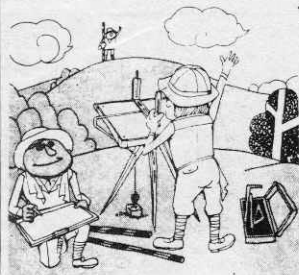
今まで私たちの土地の境もとなっていた「土地台帳」や「字限図(あざきりず)」は明治の初めに地租をとりたてたための目的でできたものです。当時の測量技術で作ったものですが、今ではあてはまらないことがよくあります。そこで、正しい測量によって新しい地図と帳簿を作り、土地の正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにしようとするのが、地籍調査事業です。

今年度は
東地区で
実施します

当町では地籍調査事業を、今年から七年計画で実施。今年、東地区を調査します。各部落で説明会を行いますが、私たち自身の財産を守る大切な調査ですから、正確な調査に協力ください。

一筆ごとに
測量します

はじめに調査の基準となる点を測量します。基準点は、その地点が地球のどこにあるかを測る大切な点ですから絶対に動かさないでください。基準点のくいは、土地の境を示すものではありません。次に、土地台帳と字限図の写



広報交通安全キャンペーン

子供が見ています
あなたの運転

「子供を車に乗せるな」と提言する教育者がいます。その提言によると「車は歩行者を「障害物」として扱う特殊な密室社会であるため、自分本位な子供を育てやすい。また、道路交通法を厳格に守るドライバーは少ないために、ルールを破ることに



慣れてしまいう。としています。つまり、「子供は運転者の態度をまねる」ということとです。子供の小さな「心」を大切にしたいものです。

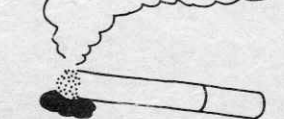
出火原因のトップは

たばこ

昭和35年以来、19年間「独走」

年間

130億円が
灰に……

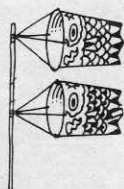


▽投げ捨て……59.8%
▽灰皿などから落下……15.5%
▽消し忘れ……8.5%
など

山火事にご注意を!!

端午の節句

「端」は初めてという意味で、端午とは初めての午(うま)の日、あるいは最初の五の日のことです。中国では五月は物忌みの月とされ、ヨモギやショウブを軒下に飾り病氣や災厄を払う行事が行なわれていました。当町でも、お年寄りのいる家庭などではまだこの風習が残されています。五月は田植の季節です。みずみずしい香りで身を清めるショウブ湯は、土への感謝の気持ちやその年の豊作への祈りもこめられていたようです。菖蒲が尚武様にせられ、男の節句になり、勝負に強くなるようにと祈られるようになったのは江戸時代以降と言われます。鯉の滝のぼりの絵から現在の鯉のぼりの姿が生まれたのも、江戸時代のことです。ところで、この季節になると、鯉のぼりによる感電事故があとをたちません。せつかくの気持ちのよい鯉のぼりが、思わぬ事故につながりかねません。もう一度、鯉のぼりの周囲を確かめてください。



ふるさと歳時記 ②

町長日記から



保育園児も小学校の一年生も通園通学に慣れていない。春の交通安全運動が始まった。事故のない合川町を心から祈りたい。(義)

さすがの豪雪も春の陽と風によって、早いスピードで消えてゆく。インソップ物語の旅人のマントを脱がせるように、人々は下着をへらしてゆく。しかし屋根から落した雪や北側のあちこちは、まだ相当の量だ。火災、地震等の災禍の避難のためにも、春らしい気持ちで満喫するために

も雪消し運動をしよう。冬ごもりから解放された身体ならしにもってこいだ。

一般会計総予算は25億8,231万7千円

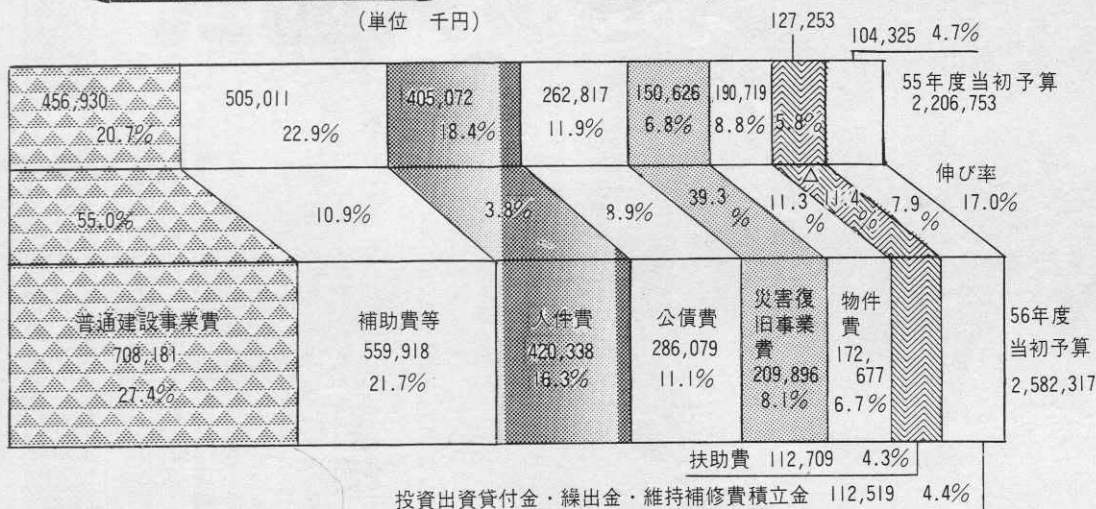
町の今年の予算から

(55年度当初予算との比較)

性質別歳出の内訳

(単位 千円)

大きく伸びた建設的事業費

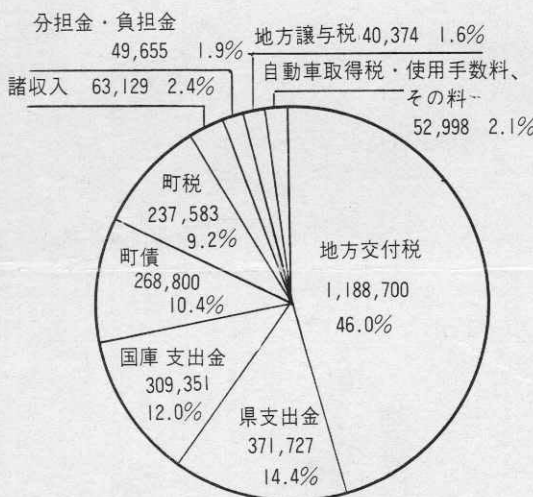


住みよく 明るい町づくり 今年は、こんな事業を 行ないます。

- 児童館建設……新田目……………2,061万円
- 保健センター建設……………1億1,729万円
- 農村総合整備モデル事業……………1億3,655万円
 - 農村環境改善センター
 - 農道整備1路線 476m
 - 集落道整備4路線 791m
- 地域農業生産総合振興事業……………2,140万円
 - もみから堆肥工場建設補助金
- 転作促進特別対策事業……………195万円
- 農道整備事業……………1億3,240万円
 - 第2道城農道 木戸石農道 芹沢農道
 - 根田農道 合川西部農道(三里一本戸石)
 - 第2合川農道(弥栄一大野尻)
- 新林業構造改善実験事業……………1,353万円
 - 野外ステージ建設(ハイランド)
- 林道開設事業……………2,641万円
 - 木畑沢線(羽根山沢)
- 山村林業構造改善事業……………7,830万円
 - 休養休憩施設(ハイランド)
 - 集会施設(杉山田) 林道三里線
- 町道整備事業……………6,465万円
 - 駅前川井線
 - 李岱川井線
 - 高校線
- 地籍調査事業……………1,199万円
 - 初年度 東地区 1.49km²
- 公有林整備事業……………5,570万円
 - 新植 22.6ha 補植 26.0ha 保育 541.8ha
- 愛生園増築費補助金……………2,000万円
- 保育園、小中学校整備……………536万円
- 排水溝整備……………196万円
- 災害復旧事業……………2億989万円
 - 河川 13カ所
 - 林道 5路線
 - 農地及び農業施設
- 〔特別会計〕
- 東地区簡易水道施設建設事業……………5億7,036万円
- 〔広域事業〕
- 公立合川高校寄宿舎建設事業……………1億2,486万円
- 広域消防合川分署ポンプ車購入……………1,599万円
- ” 合川分署広報車購入……………200万円
- ” 合川分署車庫改築……………462万円

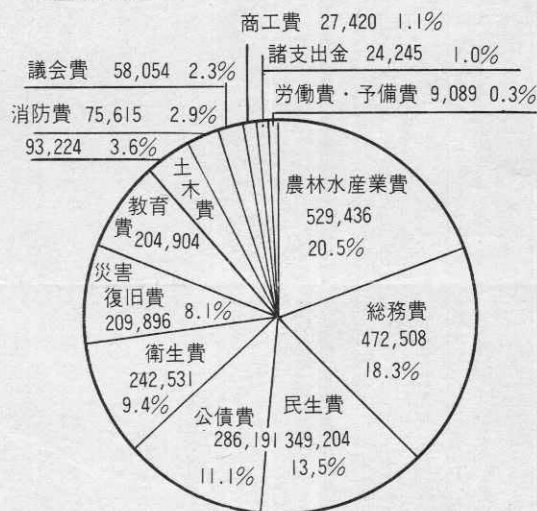
歳入

(単位 千円)



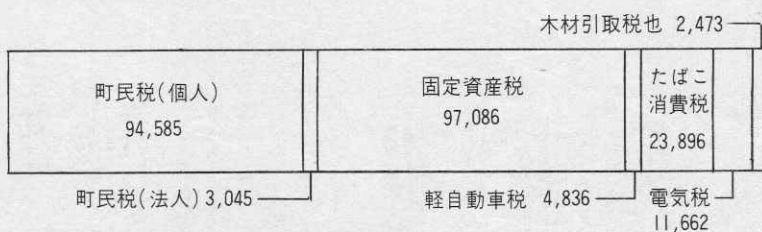
歳出

(目的別) (単位 千円)



町税のなかみ

(単位 千円)



特別会計

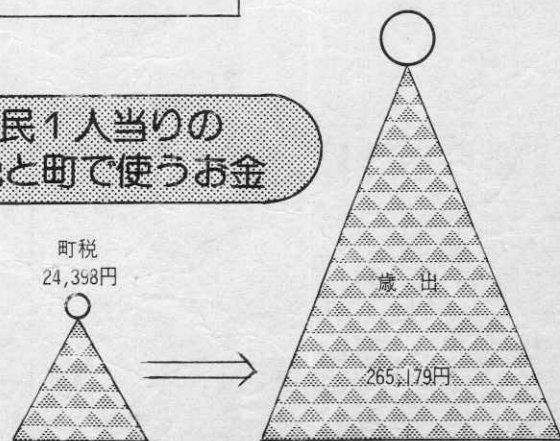
(単位 千円)



町民1人当りの 町税と町で使うお金

たばこ消費税はたばこが売られた町に入ります。貴重な収入を守るため

たばこは町内で
買いましょう



まもなく 着工

ジャンボな施設

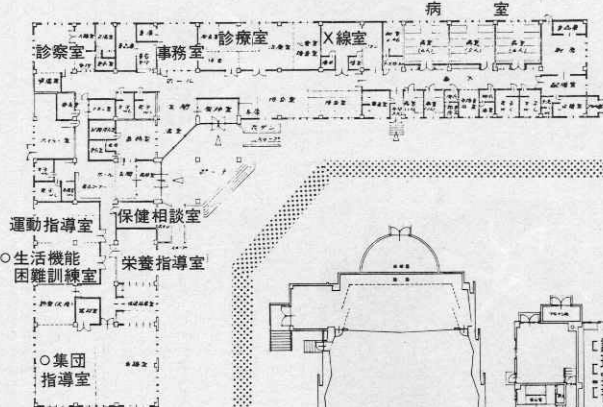
待望の農村環境改善センター・保健センター

今年度は、ジャンボな施設に続々着工。明るいつち音が響き合う日も、まもなくです。

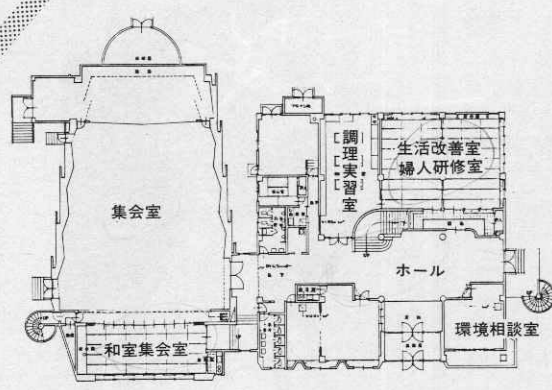
“野外ステージ”、“休養休憩施設”、“大型児童館”、“集会施設”、“もみから堆肥工場”、“愛生園増築”、“東地区簡易水道施設”、“合川高校寄宿舎”、“道路関係工事”、“災害復旧工事”などとあわせて、工事ラッシュと言ったところどころです。

そうした中で、合川中学校わきに建設される“農村環境改善センター”と“保健センター”を紹介します。同敷地には、町立診療所、町民体育館も計画されており、総合的な機能を発揮する日が待たれます。

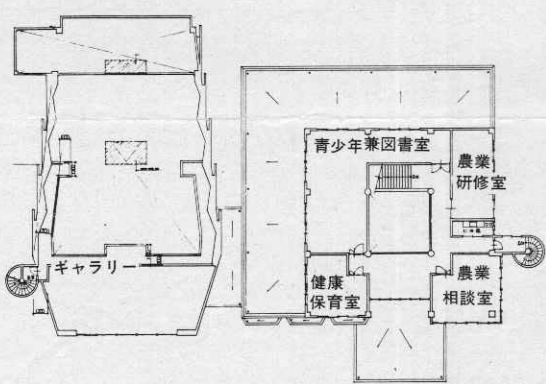
◀保健センター
平面図



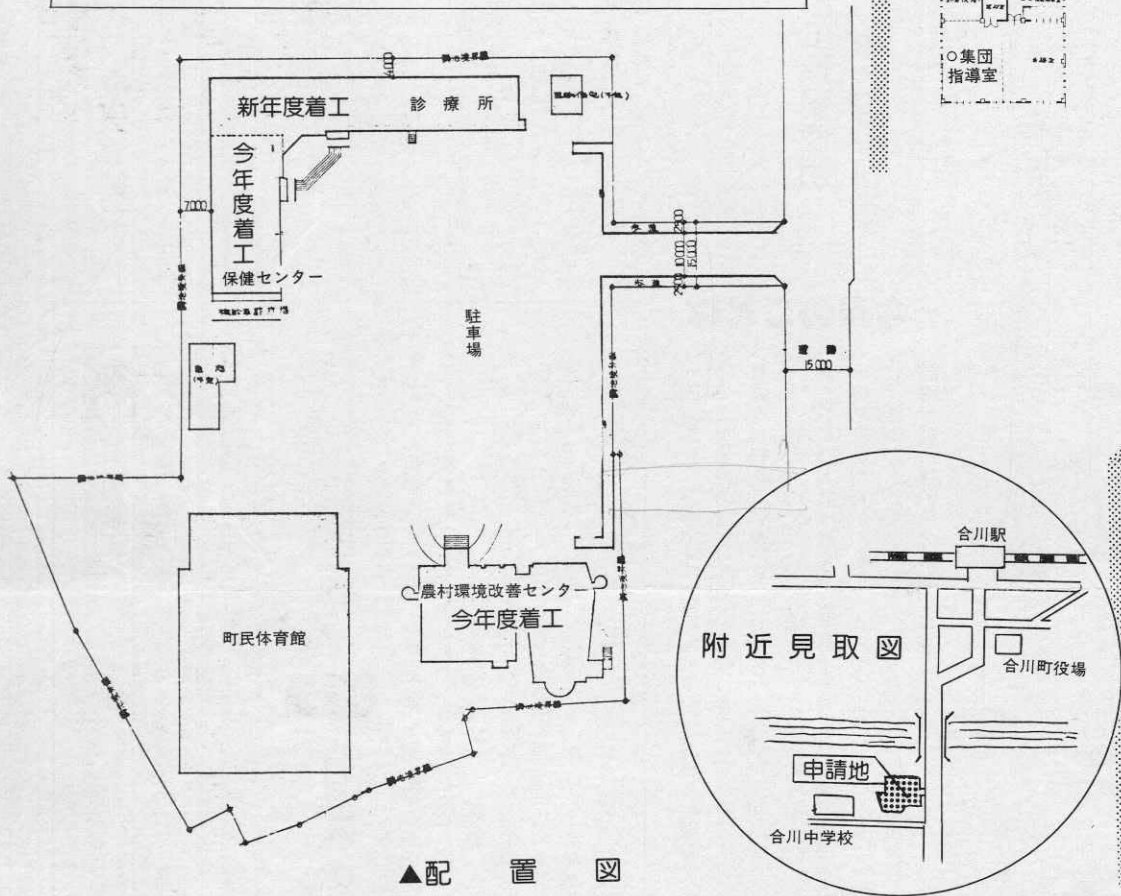
▶農村環境改善センター
一階平面図



▶農村環境改善センター
二階平面図



▲配置図



附近見取図

春の大掃除日程表
二十七日 西地区 北地区
二十八日 東地区 南地区
三十日 南地区
(根田地区は三十日です)
粗大ゴミ収集日は、回覧チラシをのぞいてください。

みんなできいな町をつくりましょう
15日 町おはよう野球開幕
(合川球場)
12日 町社会人野球大会前夜祭
10日 愛鳥週間
5日 子供の日
3日 憲法記念日
1日 メーデー

四月
17日 還暦祝
19日 百キロコンベスタート会
(大野台ハイランド)
24日 商工会総会
25日 親子読書会
28日 ことぶき大学入学式
29日 天皇誕生日
五月
1日 メーデー
3日 憲法記念日
5日 子供の日
10日 愛鳥週間
12日 町社会人野球大会前夜祭
(合川球場)
15日 町おはよう野球開幕

町のこよみ
(行事予定)



三月定例会

◎議会の議員、特別職員等の報酬の改正
議員、町三役等の報酬を改正しました。
◎合川町過疎地域振興のための固定資産税の課税免除に関する条例
町内に工場を新設、増設した場合、三年間、固定資産税が免除されることになりました。
◎母子健康センター条例の廃止について
合川町母子健康センターを三月三十一日で廃止しました。
◎町立小中学校施設整備基金条例の制定
小中学校の整備資金を積み立てるための条例を制定しました。五十六年度予算では、学校部分の収益金が積み立てられます。
◎国民健康保険財政調整基金条例の制定

健康保険特別会計の財源を調整するため、決算剰余金を積み立てる条例を新設しました。
◎災害復旧工事分担金の減免について
五十五年発生五十五年度施工の災害復旧工事の受益者分担金を次のとおり減免しました。
◎農業用施設災害復旧四・九%農地災害復旧 七・四八%
◎町指定金融機関の指定
町指定金融機関に羽後銀行を指定しました。
(三月定例会から議会広報が発行されます)

年金
年金かけ金
忘れないうちに
五十五年度分の国民年金の納期限は三月二十七日でした。あなたはかかれていますか。かかれていますと、将来年金額が減ったりもえなくなる場合もあります。今月末までに必ず納めましょう。

母子健康センター事務の変更について
町母子健康センターは三月いっぱいまで廃止になりました。妊娠届、母子手帳等の交付は、役場保健課で行ないます。乳児健診、育児相談、母親学級は該当者に連絡のもとに、以前と同じ場所で行なう予定です。母子健康について相談など、町保健課に気軽にお願いします。

診療所歯科に電話がきました
電話番号は三二六八番です。よろしく。
歯科診療時間は次のとおりです。
火・金曜日 八時半～四時半
土曜日 八時半～十一時半
午後は原則として予約制

募集
海外派遣
青年の船団員
総務課では「青年海外派遣」「日中青年交流」「青年の船」の団員を募集しています。申込み、問い合わせは二十五日(土)まで役場福祉課におよせください。

五月一日から
印紙税が
変わります
最近税率は二百円。税務署または役場税務課におたずねください。

ご利用ください
老人居室資金
申込期限 四月二十日(五)五月十日
対象 六十歳以上のお年寄り
りがある世帯で、お年寄りの部屋の増改築が必要で、自力で行うことが困難な人
貸付限度額 一世帯八十万円
利率 年三% 償還 一年以内
の据置期間経過後九年内以内平均年賦 決定 県老人居室整備資金貸付要綱による 申込書類 一、申込用紙(役場福祉課にあり) 二、申込者と保証人二人の所得及び資産証明書(役場財政課で発行) 三、工事見積書、四、平面図 その他 この貸付金は国民年金積立金還元資金を活用しているものです。お問い合わせは、役場福祉課におよせください。

大野台に春呼ぶ喚声

ひとりぐらしとの交流会 エコーハイツ

エコーハイツ入居者と町内の一人暮らしのお年寄りの交流会は、毎年、春秋二回開催。三月二十三日、ハイランドハウスで開かれた交流会には、百名を超える参加者が集いました。午前中はゲームとレクリエーション研修会。手をつなぎ、体を動かして思わず喚声が響きました。午後のは、大野台のボラティアグループ「不帰の会」の皆さんをはじめ、応援もまじって歌あり踊りありの大盛況にぎやかな歌声で、一足早い春を楽しみました。



ことぶき大学

二十一日入学式

ことぶき大学入学式は、二十一日午前十時から役場会議室で開かれます。大学では、多くの新生の入学を幅広く呼びかけています。あなたも、ぜひどうぞ。

入学案内は各部落ことぶきクラブ会長から配布します。二十日までに、ことぶきクラブ会長に入学申込をお届けください。

連青二十五周年記念誌 投稿募集集中

合川町連合青年会(会長 中村義徳さん・木戸石)では、結成二十五周年の記念誌を編集しています。現在、二十五周年の歴史にたずさわって来た関係者等に原稿を依頼しておりますので協力ください。また一般町民からも幅広く投稿を歓迎しています。内容は自由。八百字程度。投稿、問い合わせは編集部(部長佐藤重人さん・川井)までお寄せください。

百キロコンペ

スタート会

十九日、ハイランドで歩け走れで体力づくり百キロコンペスタート会は、十九日午前六時から大野台ハイランドで開かれます。参加者全員に、記念ワッペンをさしあげます。

合川球場使用

申込み受付中

ナイター使用は五月一日から申込は合川高校事務局まで

愛馬健在

今も現役です



川井 吉田春二さん

「馬も年をとっているからあと2、3年も続くでしょう。この馬で終わります。」吉田さん一家の宝物は、今も荷役作業にがんばっている現役の愛馬です。春治さんは、この冬も馬そりを引きました。

「去年は、しいたけ木の搬出などの仕事があったけれど、今年はサツパリでした。馬小屋に入れるおがくずを運んだくらいです。道楽で飼っているんです。」

観光用に飼われている馬は各地にいますが、働いている馬の姿はほとんど見られません。通りすがりの車から、わざわざ降りて見学する人も多いそうです。

「冬の堆肥運び、馬糞、代かき、運搬作業は年中、馬をだよりにした生活。それだけに馬の世話で休むひまはありません。馬に食べさせる草、馬に踏ませる草刈り仕事でした。」と奥さんのフミさん。機械化が進むにしたがって馬が姿を消していききました。「曲り家」に代表される馬と人間の共同生活もなくなりまた。

「昔は、くろ(畦)の草を盗んだとか盗まれたとか言っていたものです。今は草の処理にこまっています。田のわががいないために、おがくずをふませてます。環境の変化に驚いているのは、人間よりも馬のほうが知れません。『知らない人を見ると、かみつきそうにします。私は、馬小屋にいつしよに寝てもなんともありません。人間も馬も愛情があれば伝わります。』春治さんの目の奥に、大野台の草刈り場を駆け回った当時の思い出が写っているようです。

(秋田県の馬の頭数=昭和25年53,792頭、35年28,557頭、45年1,765頭、51年218頭)

今月のことば

天ぶらは、今や国際的な料理ですが、天ぶらが現在の姿になったのは江戸時代の飢饉(きん)の時です。質素な材料を、いかにおいしく食べるかという知恵から生まれたものでしょう。たとえば、ふきのとうヒタミンCは、ほうれん草よりもすぐれています。生活環境を生かした生活をするのが、生活のムダをなくし、健康にもつながります。(三月七日ろばた講座農村評論家野添憲治氏の講演から)



子供にとって、遊びは生活そのものといつてよいでしょう。遊びを通して体をきたえ、言葉を覚え、数をかぞえ、絵を描き、友だちと交わることに、対人関係のルールを身につけていきます。

遊び

社会への適応性を身につける

子供にとって遊びは、性格形成をはじめ、心身の発達に大きな影響をおよぼす。成長の糧」といえます。子供が遊んでいるのを見て、いと、仲よくしているかと。遊びを通して協力、競争、同情、反感など人とのさまざまなかかわりを経験しながら、子供は社会生活への適応性を身につけていくのです。お母さんによっては、子供が勉強してさえすれば安心するという方もおられるかもしれませんが、一方、積極的に遊びの機会をつくってや



⑦

無理をしないで
楽しみながら

第四回親子読書会は、三月二十八日に開かれました。会で話された「読書好き」になるコツを紹介しました。
▽本をどんなふうに読んであげる。一字一句の拾い読みでは、本のイメージが、わいてきません。子供にも絵や文字を見せながら、読み聞かせを多くしましょう。
▽興味を持った本は繰り返し読む。同じ本でも読むたびにイメージが広がります。楽しさもふくらんでいきます。
▽一冊の本を読み合う。いっしょになって同じ本を読み合うと、知らず知らずのうちに、知恵や知識が伝わります。ページ交代に子供と読み合ってはどうでしょう。
▽無理に感想を言わせない。本を読み終えてすぐに「感想は？」などと問いつめると、せっかくの楽しい気分がこわれてしまします。緊張して本を読むと、いややがさし長続きしません。

一冊の本

ことばの

あいうえお

五味五郎作



五十音表とにらめっこしながら、子供に「あいうえお」を教えこもうと、がんばっているお母さんはいませんか、そんなお母さんと子供にすめたい一冊です。
「あ」は「あつ」とびつくりする「あ」。「い」は「いた」の「い」。思わず声を出して読み、子供と顔を合わせウフフと笑えます。体と心で読める楽しい本です。幼い子供ばかりでなく、小学生でもたいへん喜ばれます。物語絵本で

3月届

慶弔だより

○おめでとうございます
三浦美知佳 三郎長女 駅前
佐藤美由紀 寛二女 東根田
鈴木やよい 昇悦長女 福田
伊藤 真弓 米弘二女 杉山田
佐藤 拓史 吉正長男 金沢
桜田 飛鳥 進長女 東根田
高橋 義仁 一長男 八幡岱
工藤 正道 正男長男 上杉
●おくりや申しあげます
木村正弘 弘美二男 李 岱
成田タキ 道哉母 李 岱
斎藤辰雄 44七五郎長男 美 栄
〔おわびと訂正〕
広報前号慶弔だより誕生欄の佐藤つぐみ 文助長女 川井は文明長女の誤りでした。おわびして訂正申し上げます。

町の人事

(一)内は前任 四月一日付
三浦長一郎 農林課長補佐兼町農業総合指導センター事務局
長(農業総合指導センター事務局局長)
藤田信行 総務課主任・地籍調査班長(総務課主事)
萩野芳昭 県民生協会出向(福祉課)
佐藤キヨ 財政課(総務課)

善意のご寄付

〔香典返しにかえて〕
金田市蔵 摩当故妻 ハチエ
金沢ナツ 駅前(故夫 寛龍)
伊藤龍雄 木戸石(故父 多吉)
成田道哉 李岱(故母 タキ)
斎藤紀子 美栄(故夫 辰雄)
〔どうきん寄贈〕
鎌沢寿クラブ(代表御所野長三郎) 上杉寿クラブ(代表工藤イマ) 木戸石寿クラブ(代表杉淵富治)
〔お願い〕
町社会福祉協議会では、香典返しにかえて御寄付をいただいた場合、寄付金の一部を返礼はがきの印刷代にあてて、寄付者にお渡ししてまいりました。今後は、諸般の事情から、はがき印刷代は別途お願いいたします。よく御協力をお願いします。

はありませんが、一つ一つの絵の動きがあり、大きな夢を広げてくれることでしょう。